

上桂川対策特別委員会

日 時 平成 2 5 年 5 月 9 日 (木) 午前 1 0 時 ~
場 所 第 2 委員会室

1 開 議

2 議 題

- (1) 平成 2 5 年度事業計画と今後の見通しについて
(まちづくり推進部説明・質疑の後、保津工区現地視察)
- ・ 桂川及び支川河川改修事業について
 - ・ 保津川かわまちづくりについて
 - ・ 防災について

3 その他

上桂川対策特別委員会

平成25年 5月 9日 (木)

まちづくり推進部

桂川・道路整備課

桂川河川の最近の進捗状況について

1 桂川改修計画の概要について

〔治水対策の基本方針〕

- ア 日吉ダム completionにより、洪水調節機能の活用を図り下流の流出量を調節させる。
- イ 河道の河積拡大、築堤、護岸整備により疎通能力の拡大を図る。

(1) 日吉ダム(独立行政法人 水資源機構)

平成10年4月1日より管理を開始している。

(2) 河道改修

①京都府管理区間(亀岡工区)

保津峡入口から旧保津橋までの保津工区については、日吉ダムの洪水調節と併せて、当面計画(昭和57年出水対応)に基づく河道改修を促進し、平成21年度事業で概成した。

今後は、当面計画に引き続き、着実な治水安全度の向上を図るため、戦後最大洪水を安全に流下させることを目指し、上下流バランスを確保しながら段階的に河道改修を進める。

併せて、人々の暮らしと深く関わり続けてきた保津川の歴史や文化を踏まえながら、河道改修に伴い新しく生まれた広大な河川空間を有効に利活用していくため、平成22年度に川をいかしたまちづくり、まちをいかした川づくりとして「保津川かわまちづくり計画」を策定し、平成23年度には、保津川かわまちづくりに関係する様々な主体に参加いただき「保津川かわまちづくり推進協議会」を設置した。この協議会では、具体的な実施主体や整備手法などを協議・調整する場として更に5つのWGを設置し、亀岡市と連携してその実現に取り組む。

また、引き続き千々川等において河川改修事業を実施していく。

②国土交通省管理区間(嵐山より下流)

平成21年3月に策定した淀川水系河川整備計画に基づき、戦後最大洪水を安全に流下させることを目指し、今後概ね30年間で河川整備を順次進めていくこととしている。

このため、桂川最下流で流下能力の低い伏見区大下津地区では、約2.4kmの築堤工事が進められている。

このうち淀大下津町700m区間においては、家屋移転が全て完了し築堤工事が概成している。淀水垂町900m区間においては、9割程度の買収が完了している。

淀樋爪町800m区間については、引き続き用地取得に努めていく。

また、桂川の現況流下能力や近年の被災状況等を踏まえ平成16年10月台風23号の実績洪水を安全に流下できる河川整備(河床掘削等)を実施することとしており、昨年引き続き、順次掘削に着手する予定である。

さらに、治水安全度の低い嵐山地区の改修着手に先立ち、「嵐山地区河川整備検討委員会」を設け、整備手法の検討を行っている。

2 保津工区における主な経過

昭和62年9月	保津橋下流工区改修計画案を公表
昭和63年8月 ～平成元年1月	保津橋下流工区各地域(延長2.3m 保津町、亀岡地区、篠町)の同意を得て、現地の測量を実施
平成2年度	3段階(当面計画、暫定計画、基本計画)の実実施計画を策定
平成3～4年度	保津町、亀岡地区、篠町に計画幅を示す目安杭を設置
平成5年度	当面計画の第1段階の進め方(第1期整備計画)について関係地域、地権者及び関係機関に説明を実施
平成6～7年度	第1期整備計画の用地測量(篠町山本、保津町八ノ坪・閑谷)の実施
平成8年度	第1期整備計画の用地取得に着手
平成9年度	第1期整備計画の本工事に着手(鵜ノ川床止工の施工) 保津橋架け替え工事に着手
平成10年度	第1期整備計画の築堤工事に着手 第2期整備計画の地権者調査に着手(保津町[桂川右岸]地区、西川、年谷川、雑水川地区)
平成11年度	第2期整備計画の用地測量に着手
平成12年度	第2期整備計画の用地取得に着手 第1期整備計画の築堤工事完了
平成13年度	保津橋架け替え完了 第2期整備計画の築堤工事に着手
平成14年度	下河原樋門等の重要構造物に着手
平成15年度	国の短期集中型事業として緊急対策特定区間の設定を受ける 第1期整備計画の用地取得完了
平成16年度	保津橋下流～雑水川間の桂川本川築堤工事に着手 雑水川に架かる市道橋の架け替えに着手 鵜ノ川(高橋下流)の築堤が概成
平成17年度	支川西川の築堤工事に着手 雑水川に架かる市道橋の架け替え完了 年谷川に架かる葛原橋、西川に架かる下流農道橋の架け替えに着手 雑水川、千々川に架かるJR橋梁の架け替えに着手
平成18年度	桂川本川高水敷の掘削工事に着手 西川に架かる上流農道橋に着手 桑の木樋門、向嶋樋門、準用河川東川樋門に着手

- 平成 19 年度 桂川本川高水敷の掘削工事を実施
雑水川に架かる農道橋に着手。雑水川取水堰の改築完了
八ノ坪樋門、六ノ坪樋門、葛原樋門に着手
- 平成 20 年度 本川・支川の築堤工事促進
雑水川に架かる農道橋の架け替え完了。西川取水堰の改築
山本樋門、下江村樋門に着手
雑水川、千々川に架かる J R 橋梁の架け替え完了
- 平成 21 年度 本川・支川の築堤・護岸工事促進
「当面計画」に基づく河道改修の概成
- 平成 22 年度 桂川本川と西川、年谷川の合流部工事着手
保津川遊船前護岸工事着手
「保津川かわまちづくり計画」策定
保津橋下流左岸「花回廊」の一部完成
- 平成 23 年度 桂川本川と西川、年谷川の合流部工事完成
保津川遊船前護岸工事促進
「保津川かわまちづくり推進協議会」設置
雑水川合流部桂川本川下流右岸「花回廊」の一部着手
年谷川下流左岸「野橋立」の一部着手
- 平成 24 年度 保津川遊船前護岸工事促進
雑水川合流部桂川本川下流右岸「花回廊」の一部着手
年谷川下流右岸「野橋立」の完成

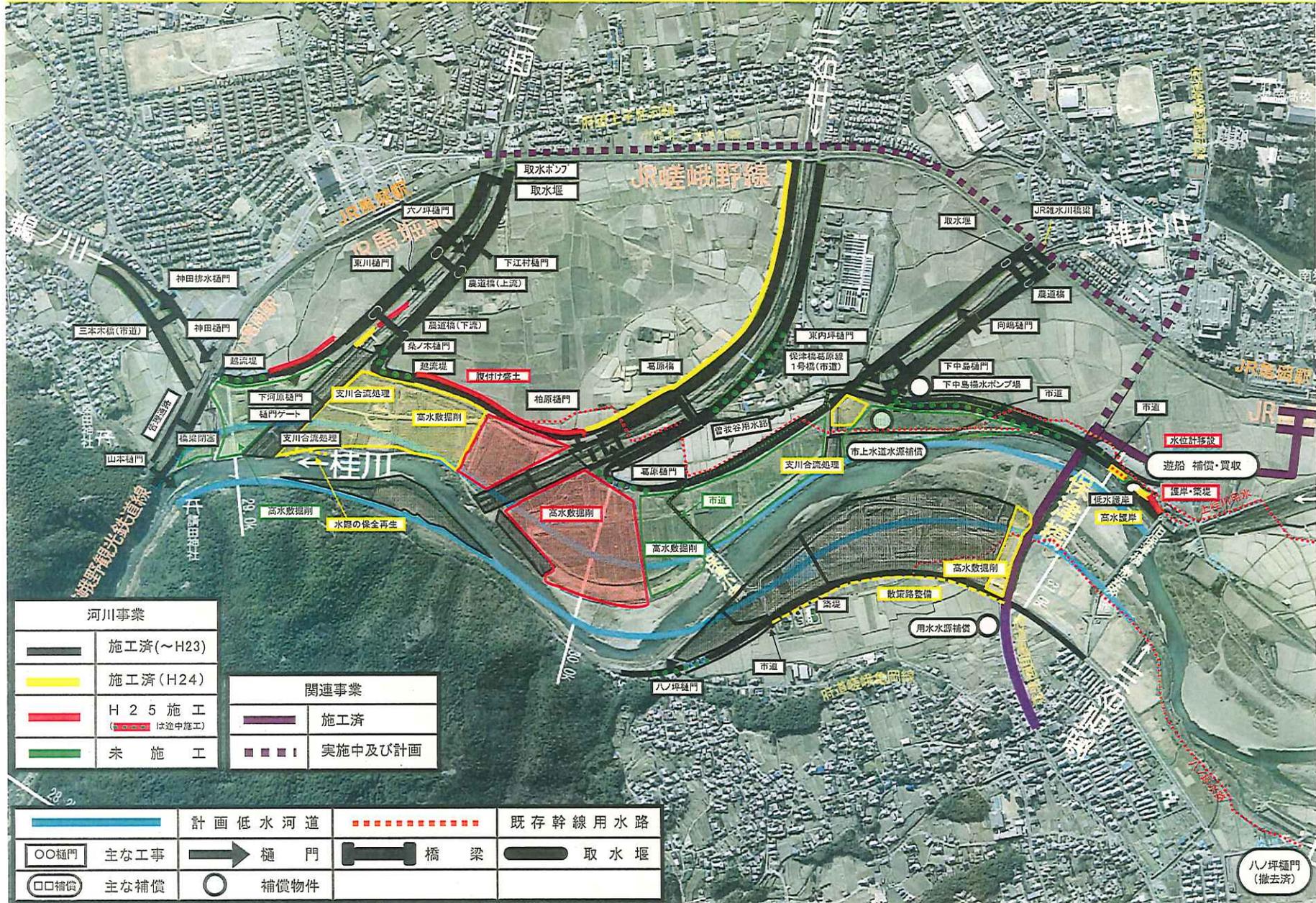
3 平成24年度及び平成25年度事業（予定）について

河川名	工区名	平成24年度	平成25年度（予定）
桂川	太田 鷺ノ川 下河原 西川 蓼島 年谷川 葛原 雑水川 下中島 閑谷 八ノ坪	詳細設計 高水敷掘削 築堤工事 護岸工事 ほか	
	曾我谷川		
	宇津根		
	大井		
	千々川	農業用水関連工事	
	千代川		
	愛宕谷川	用地買収	
	河原林		
	馬路		
	雑水川 (JR～極楽橋)	概略・詳細設計 護岸工事	
犬飼川 (桂川～山内川合流)			
千々川 (JR～京都縦貫道)	護岸工事 用地測量		

注： は、桂川の支川処理として、本川合流点からJRまでの区間

桂川(保津工区)河川整備状況

H25. 4



河川整備の現状 (1)

亀岡地域に大きな被害をもたらしてきた洪水

■亀岡地域の主要洪水

年月	原因	浸水面積 (ha)	浸水戸数 (戸)
S28. 9	台風13号	690	1,350
S34. 8	台風7号	440	300
S34. 9	台風15号	360	70
S35. 8	台風16号	700	1,400
S36. 10	豪雨	420	250
S40. 9	台風24号	410	200
S47. 9	台風20号	400	180
S57. 8	台風10号	213	23
S58. 9	台風10号	229	64
H元. 9	豪雨	200	8
H 7. 5	豪雨	41	0
H16. 10	台風23号	270	7

- ・ 3年連続で4回の洪水
- ・ S34は8月、9月と連続
- ・ S35は戦後最大浸水被害

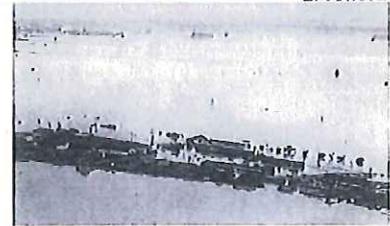
←日吉ダム完成後最大洪水

S28洪水



亀岡駅

S35洪水(戦後最大浸水被害)



亀岡駅付近

S57洪水 (当面計画対象)



H7洪水



追分町 亀岡駅前通り

河川整備の現状 (2)

治水対策の基本方針

- 「日吉ダムの洪水調節」＋「河道改修」
- 目標及び計画流量：1/100年、3,500m³/s
- 上下流バランスを踏まえ、段階的に治水安全度を向上

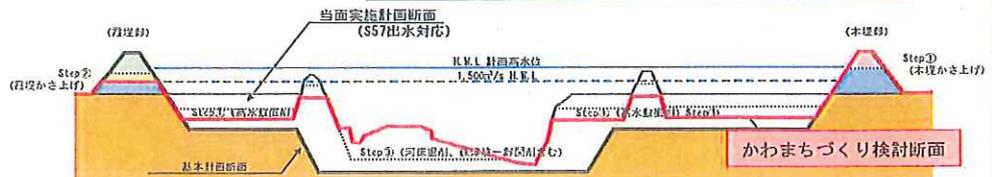
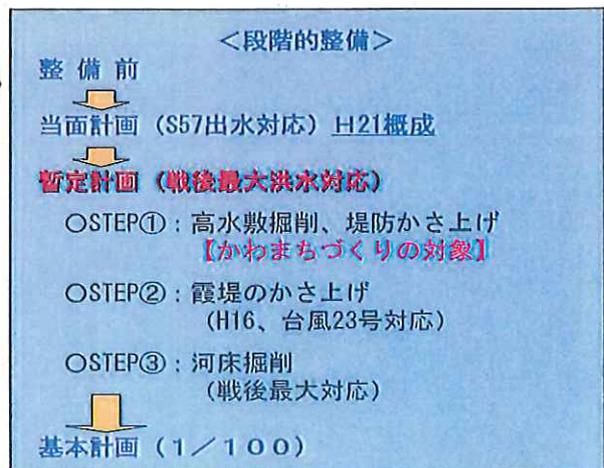


重力式コンクリートダム
高さ 67.4m、長さ 438m
・堤体 670千m³
・貯水容量66,000千m³

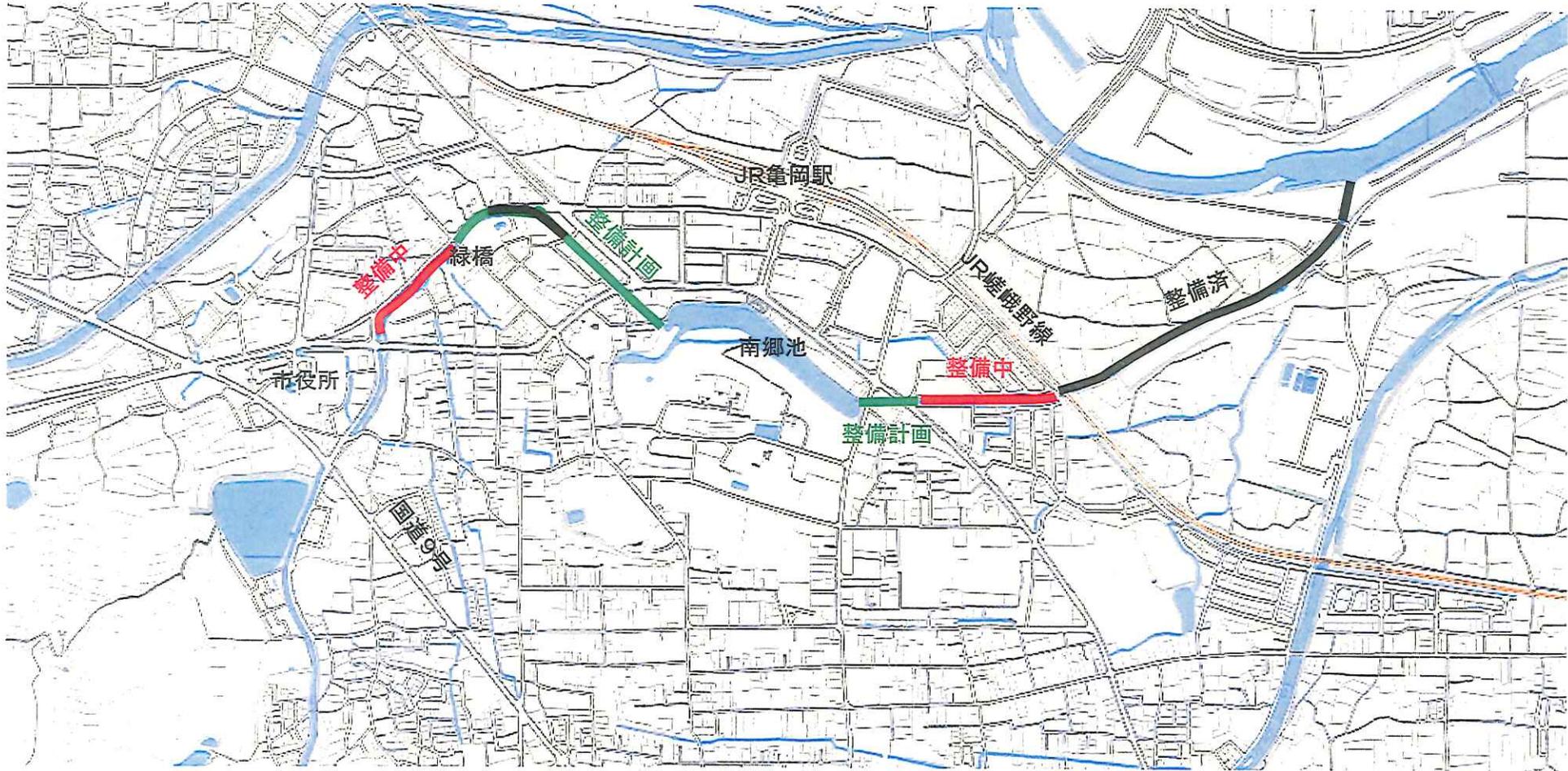
日吉ダムは平成10年に完成して以降、14回の洪水調節を行っており、中でも平成16年台風23号に伴う洪水では、亀岡地点で約1mの水位低減効果を生ずるなど、加川の浸水域害の軽減に大きな役割を果たしています。

■段階的なイメージ

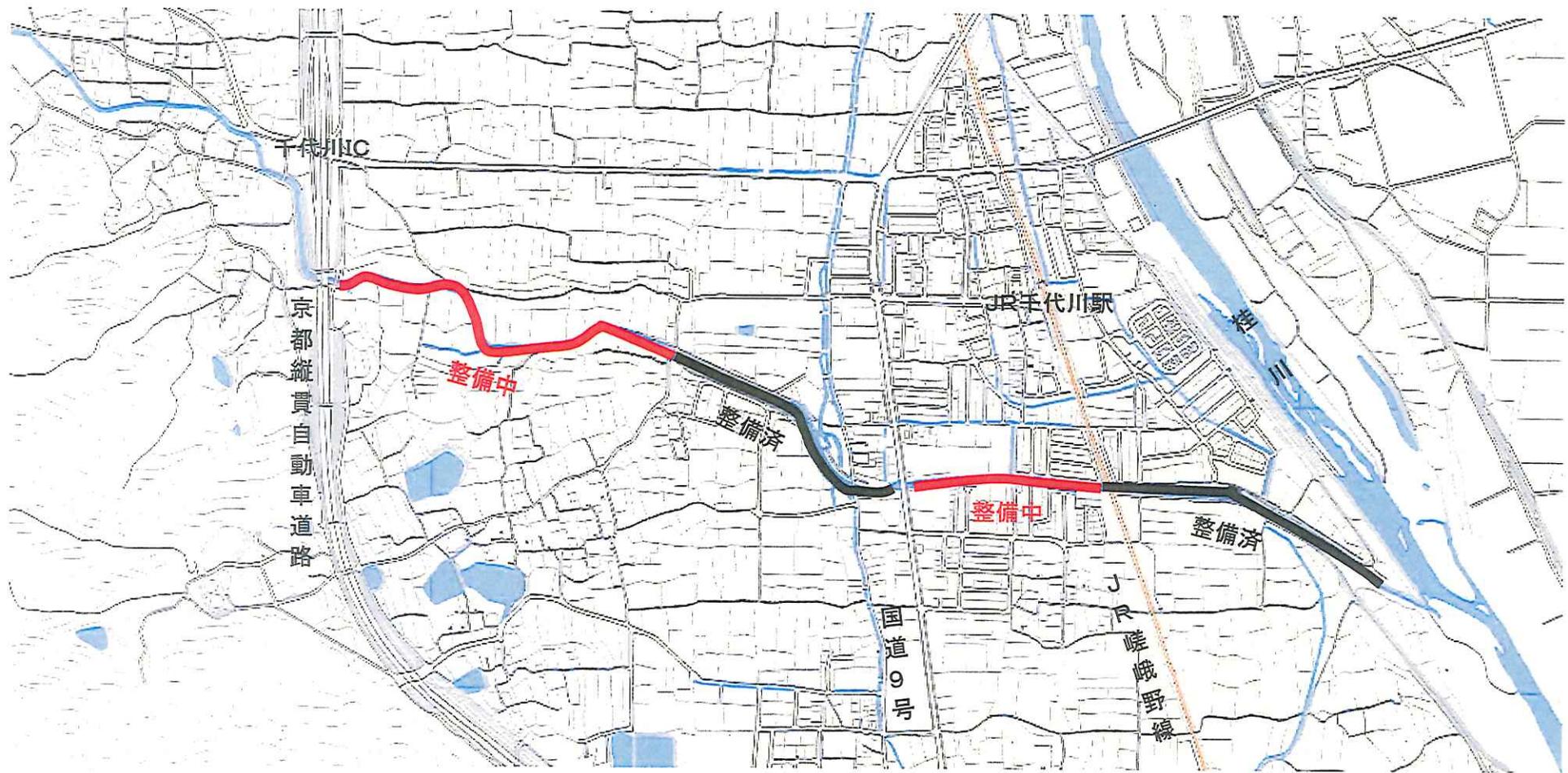
凡例	
	当面計画で施行
	Step①
	Step②
	Step③
	基本計画で施行
	かわまちづくり検討計画断面

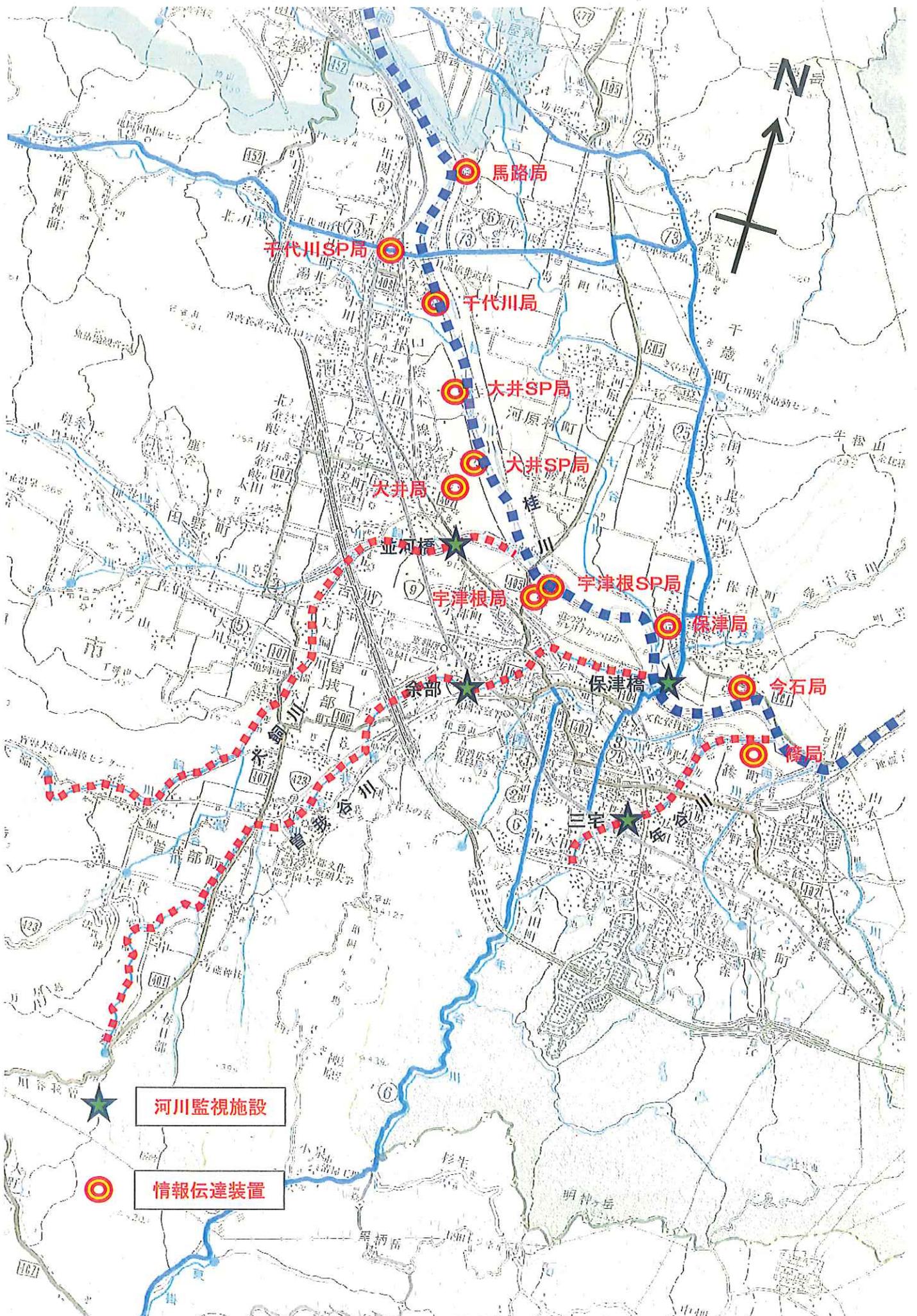


雑水川河川改修



千々川河川改修

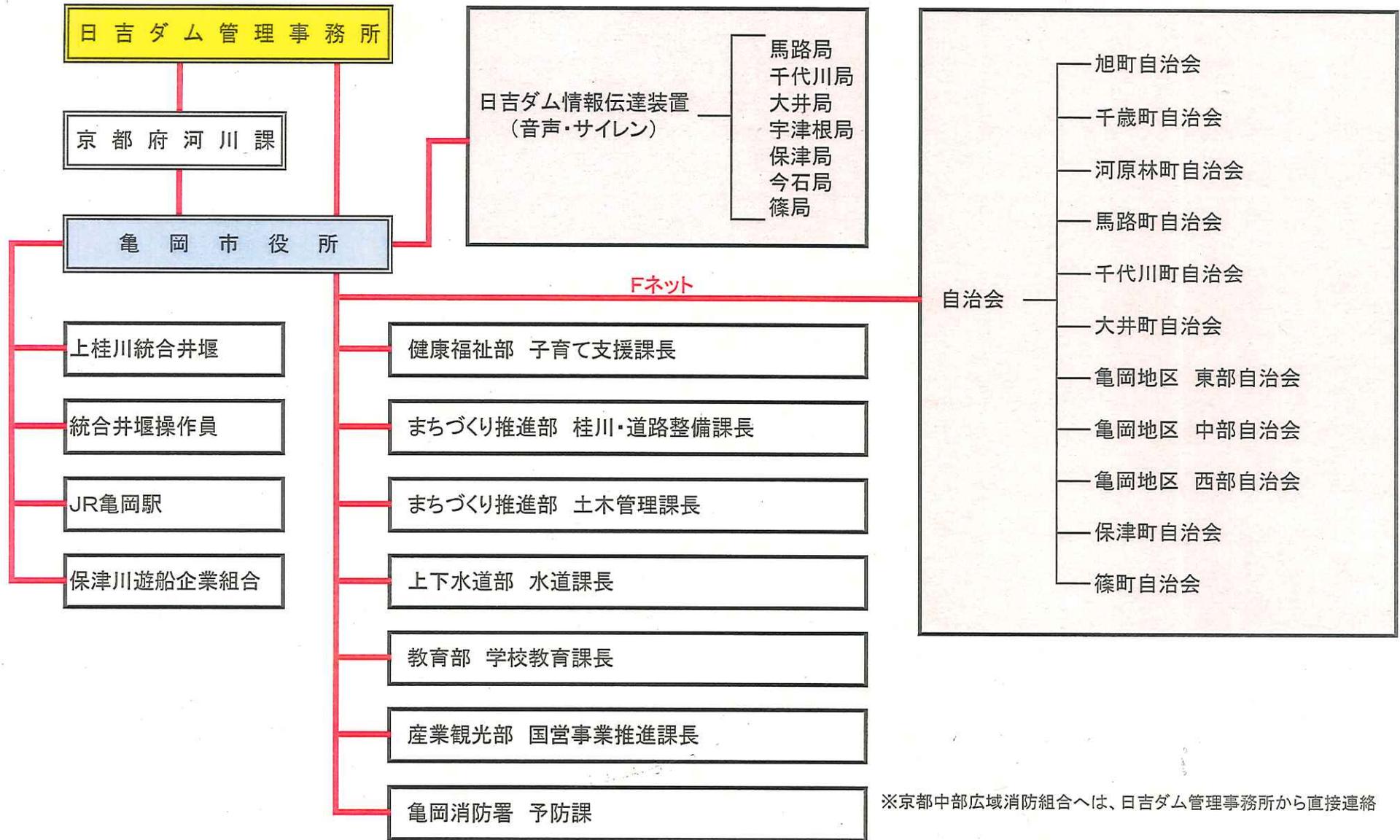




河川監視施設

情報伝達装置

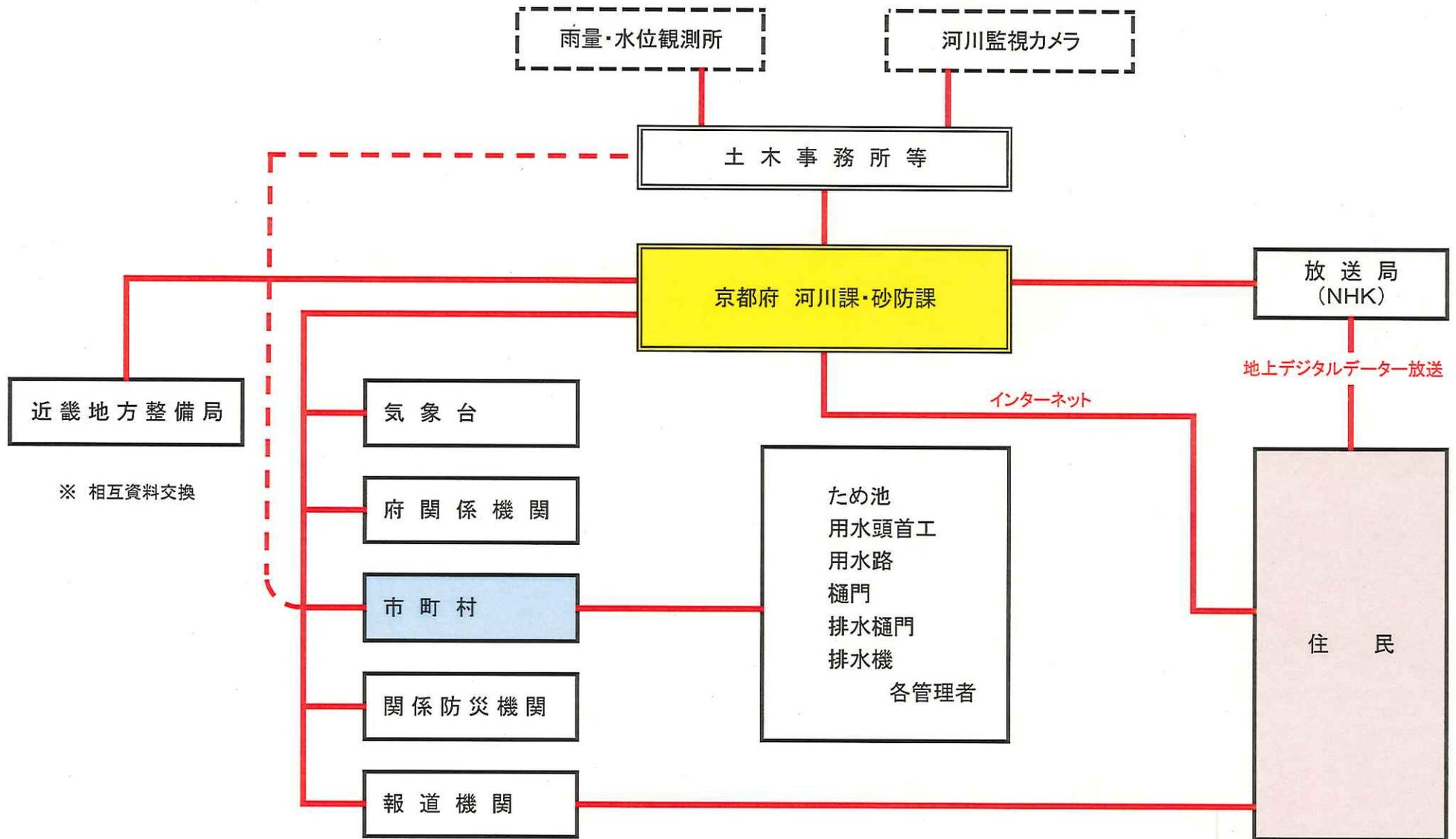
日吉ダム放流連絡系統図



※京都中部広域消防組合へは、日吉ダム管理事務所から直接連絡

※ 亀岡市地域防災計画(資料・マニュアル編)を基に作成しています。

雨量・水位等の観測連絡系統図



※ 京都府 雨量・水位等の観測と通報・公表要領を基に作成しています。